

令和2年度活動

4.国産花き展示による魅力発信

国産花き展示による魅力発信

※本事業は、コロナ禍前の計画では、多様で高品質な国産花きの魅力を業界内外に周知するための活動として、花き生産フォーラムを開催する予定であったが、集客イベント開催が困難になったことから、業界内への周知と、消費者への直接的な周知を目指し、実施時期をずらしつつ、それぞれ開催場所を選定して実施した。

花き業界関係者への魅力発信

目的：

新型コロナウイルス感染症の影響により、大きな影響を受けた日本の花き生産を応援し、改めて国産花きの品質の高さをアピールするとともに、積極的な活用を提案する展示とする。

出展： アグロイノベーション2020

開催期間： 2020年11月11日（水）～13日（金）

開催場所： 東京ビックサイト 青海展示棟

展示内容：

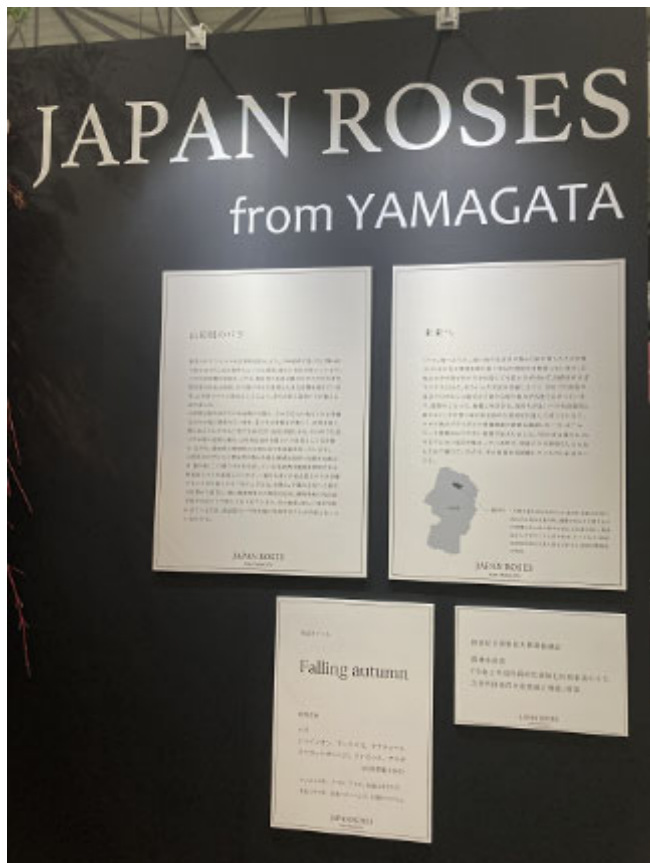
コロナ禍によるブライダル需要低下による大きな打撃を受けた花材にフォーカスし、また国内でも高い生産品質を誇る産地にフォーカスし、トレンド品種などの品種展示と共に、季節に合わせたデザインを提案した。

主な商材： バラ

主な産地： 山形県鮭川村

『 Falling autumn 』

デザイン制作担当：Hideyuki Niwa Design Office



目的： 新型コロナウイルス感染症の蔓延による経済社会活動の自粛に伴い冠婚葬祭の需要が大きく減退し、3月～5月にかけて、日本の花き生産地が厳しい状況に見舞われた。一方コロナでの活動自粛により自宅で過ごす時間が増え、花のホームユース需要が増加している状況を鑑み、多様で高品質な国産花きの魅力を消費者にアピールし、花きの需要を支えるため、国産バラの展示イベントを行った。

開催場所：アートアクアリウム美術館 日本橋

開催期間：2020年12月19日（土）～28日（月）

展示内容：水と金魚と音響・映像を和の分化として融合させた展示体感施設としてコロナ禍の中でも注目されている。
若年層中心に集客が期待される施設として、
花との融和性も高いことから、クリスマス時期に合わせて展示

主な商材： バラ

主な産地： 山形県

アートアクアリウム美術館 日本橋



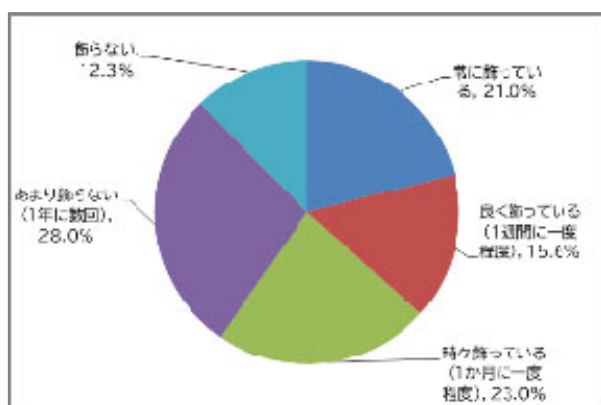
装飾担当：日比谷花壇

WEBアンケート

ご年齢/性別	男性	女性	他	合計
10代以下	2	13	0	15
20代	23	68	0	91
30代	17	38	0	55
40代	11	38	0	49
50代	6	18	1	25
60代以上	3	5	0	8
合計	62	180	1	243

■アンケート実数

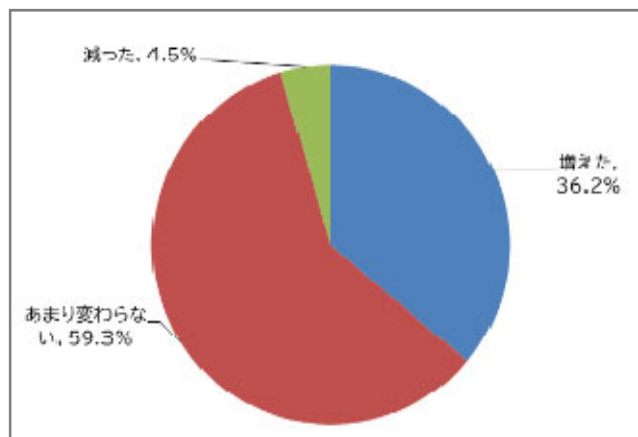
花業界が抱える若年層の花離れ世代への周知という意図からは今回のアートアクアリウム美術館での開催は右のように合致しており全体の半分程度が周知ターゲットになっている。
一方50代以上の親のいけばなを知っている世代ではスマートフォンでのアンケートという事もあり答えて頂ける方の実数としては少ない。
以下質問事項では花離れが言われている若年層を中心とした実態を反映するものと思われる。



3) 自宅に花を飾っていますか？

アンケートにお答えいただいた方では、月に1回以上自宅に花を飾る方は、全体の59.7%となり、若年層が多い中で一般的な自宅での花飾りの頻度よりも高い傾向がみられる。

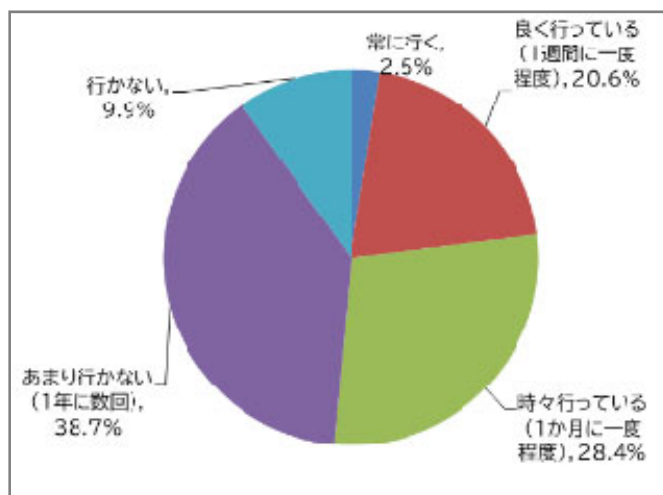
4) コロナ禍でおうち時間が増えたことで／ご自宅での花飾りの頻度は変化しましたか？



今回のアンケートにお答えいただいた方々は比較的花店に立ち寄っている人が多く、一か月に1回以上の方が51.5%と多く見られた。一方で、あまり行かない・行かないと言う方々も多く、花屋さんへの要望意見では、価格が判らない、選び方などをわかりやすくしてもらいたいなど、花業界での課題となっている顧客目線の店作りや接客など、日々販売しているものが変わる中でも、労力を掛けずにそれらサービスが行えるような仕組みが必要かもしれない。

前項のもとと自宅での花飾り頻度の高い方のシェアが高く、コロナ禍の影響を受けずに継続している方が一番多く約60%を占める、また他のアンケートでも増加傾向である、コロナ禍でおうち時間が増加するなかで、花飾りの頻度が増えたという方々も多くみられる。

7) お花屋さんでお花を買う頻度を教えてください



事業運営／和田幸一、鹿子木慶一、新井悦子
企画・実施・調査・編集／小川典子、十川雅子
イラスト／佐々絵里子（@flowereriy）

農林水産省 令和2年度 持続的生産強化対策事業のうち
次世代国産花き産業確立推進

**花のホームユース需要拡大
母の月2020
国産花き展示による魅力発信
実施報告書**

2021年3月 国産花き需要拡大推進協議会

発行 国産花き需要拡大推進協議会（花の国日本協議会：事務局）

〒102-0081 東京都千代田区四番町4-9 東越伯鷹ビル5F

TEL : 03-3238-2703

<https://homeuse-hana.jp/>

無断複写・複製・転載等をご容赦ください。



農林水産省 令和2年度 持続的生産強化対策事業のうち
次世代国産花き産業確立推進

**花のホームユース需要拡大
母の月2020
国産花き展示による魅力発信
実施報告書**

2021年3月 国産花き需要拡大推進協議会

